

令和 9 年度

入学者選抜要項

- ◎ この入学者選抜要項は、宮崎公立大学が実施する令和9年度入学者選抜に関する概要をまとめたものです。出願する際は、出願する選抜区分の学生募集要項を必ず確認してください。
- ◎ 学生募集要項の公表時期は本書 22 ページ、「Ⅶ 学生募集要項の公表」で確認してください。

やわらかな知性を身につける。



宮崎公立大学
MMU LIBERAL ARTS

令和9年度入学者選抜要項 目次

I 宮崎公立大学の概要	
1 学部・学科および入学定員	1
2 建学の理念・目的	1
3 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	1
4 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	2
5 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	5
II 入学者選抜の概要	
1 募集人員	6
2 入学者選抜実施日程	6
3 入学者選抜方法等	7
III 一般選抜	8
IV 学校推薦型選抜	11
V 特別選抜	
帰国生選抜	14
社会人選抜	16
私費外国人留学生選抜	18
編入学試験（一般編入学(3年次)・私費外国人留学生編入学(3年次)）	19
VI 障がい等のある入学志願者の事前相談	22
VII 学生募集要項の公表	22
VIII インターネット出願	23
IX その他	23
X 問い合わせ・事前相談・学生募集要項請求先	23

■令和9年度入学者選抜の変更点

変更点については、本学受験生サイト「入試制度の変更(予告)」ページをご確認ください。

<https://www.miyazaki-mu.ac.jp/entrance/entrance-exam/system-changes/index.html>



I 宮崎公立大学の概要

1 学部・学科および入学定員

令和9（2027）年4月、新たに「国際情報学科」を設置します。

学部	学科	入学定員
人文学部	国際文化学科	150名
	国際情報学科	50名

2 建学の理念・目的

宮崎公立大学は、広く知識を授け、深く専門の学術を教授研究し、高い識見と国際的な視野を持つ人間性豊かな人材を育成するとともに、広く地域に開かれた大学として生涯学習の振興、産業経済の発展及び文化の向上に貢献することを目的とする。

3 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

宮崎公立大学は、地域に根差した大学として、建学の理念に基づき、リベラル・アーツ教育を通じて、人材育成目標である「教養あるグローバルな人物」を育成します。

「本学が目標とする「教養あるグローバルな人物」

- 国際的な視野、幅広い知識と批判的思考、また、コミュニケーション能力を備えた上で、現代的課題を探究できる人
- グローバル化する世界で、社会の一員として、多様な人々、異なる文化、専門的知識をつなぎ、課題の発見や解決に貢献できる人
- 常に変化する世界の中で、柔軟に対応し、主体的に学び続けることができる人

本学では、以上の「教養あるグローバルな人物」育成のための教育課程を修め学習目標を達成した者にそれぞれ学士（国際文化）、学士（国際情報）の学位を授与します。

「学習目標」

	国際文化学科	国際情報学科
知識・理解	人間の営みとしての思想や言語、文化の違いを理解し、尊重することができる。常に移り変わる環境や社会、時代の在り方に関して興味を持ち、専門的知識をもとに、批判的な考察と学術的な議論をすることができる。	情報化の進展によって変化し続けるグローバル社会の姿を理解することができる。情報技術と社会の関係性、新たな科学技術の在り方に関して興味を持ち、専門的知識をもとに、批判的な考察と学術的な議論をすることができる。
汎用的技能	日本語および外国語を用いて自分の意見を表現し、論理的思考をもとに、他者とコミュニケーションをとることができる。情報通信技術を利活用し、情報を適切に収集、整理、発信することで、課題の発見や解決に役立てることができる。	日本語および外国語を用いて自分の意見を表現し、論理的思考をもとに、他者とコミュニケーションをとることができる。情報通信技術を安全かつ効率的に利活用することで、高度情報社会における課題の発見と分析、情報の信頼性を確保した解決に役立てることができる。
態度・志向性	人文科学や社会科学の知識、自分自身の経験、語学や情報のスキルを組み合わせることで、他者とともグローバル社会や地域社会の問題解決に取り組むことができる。生涯にわたって、新たな価値創造や社会貢献のために学び続けることができる。	情報通信技術の高度な知識と技能を基盤として、他者とともグローバル社会や地域社会の問題解決に取り組むことができる。生涯にわたって、新たな価値創造や社会貢献のために学び続けることができる。

4 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

「1. 基本方針」

- ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）で学習目標として示した「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」をバランスよく修得できるよう、順次性のある体系的なカリキュラム（教育課程）を編成します。
- 順次性と体系性については、各学科のカリキュラム・ツリーで示します。また、授業科目と学習目標の関係は、各学科のカリキュラム・マップで示します。

「2. 授業科目の構成と配置」

- 授業科目は、二学科共通の「共通科目」と、専門分野の学びを深める「専門科目」で構成されています。
- 初年次は共通科目を中心に履修し、学年が上がるに従って専門科目の比重が大きくなります。また、学年が進むにつれて、学習内容は基礎レベルから応用・発展レベルへと高度化し、学習方法も教員の説明を聞いて知識を理解する学習から、学生が自ら問いを立て、その答えを主体的に探究する学習に移行します。講義・演習・実習等の授業形態を適切に組み合わせた科目配置により、専門性の向上と学生の成長を促します。
- 共通科目は、専門分野の枠を超えて広い視野と柔軟な思考力を養うための「基礎教養領域」、言語や情報の汎用的技能を身につけるための「リテラシー領域」、学内外の実体験の中で実践

力を培うための「体験型学習領域」の3つの領域で構成されています。

- 基礎教養領域は、「大学入門科目」「現代教養科目」「スポーツ健康科目」「キャリア・デザイン科目」の4つの科目で構成されています。大学入門科目は、リベラル・アーツ教育を実践する本学で学ぶ意義を理解し、大学での学習に必要なアカデミック・スキルを習得するための科目です。現代教養科目は、現代社会をより豊かに生きるための幅広い教養を身につけるための科目です。スポーツ健康科目は、生涯にわたって心身の健康を保ち、スポーツに親しむ素養を養うための科目です。キャリア・デザイン科目は、社会的・職業的自立に向けて自己理解を深め、様々な進路に必要な能力や態度を身につけるための科目です。
- リテラシー領域は、「英語教育プログラム」「東アジア言語教育プログラム」「情報教育・数理データサイエンスプログラム」の3つのプログラムで構成されています。英語教育プログラムと東アジア言語教育プログラムは、コミュニケーション・スキルとしての高度な外国語（英語・中国語・韓国語）運用能力を習得するための科目です。情報教育・数理データサイエンスプログラムは、数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、活用する基礎的な能力を身につけるための科目です。
- 体験型学習領域は、「異文化理解プログラム」「地域課題解決プログラム」の2つのプログラムで構成されています。異文化理解プログラムは、外国語による実践的なコミュニケーション能力と異文化理解対応力を身につけるための科目で、現地での語学研修と異文化体験が含まれます。地域課題解決プログラムは、地域で活動する人々と協働しながら地域の課題を発見し、その解決策を模索する科目です。
- 専門科目は、「導入科目」「基礎科目」「基幹科目」「展開科目」「演習科目」の5つの科目で構成されています。導入科目は、各学科の学びの魅力や専門分野の広がりを知るための科目です。基礎科目は、専門分野を学ぶ上で必要となる基礎的知識を修得するとともに、学問領域全体を俯瞰するための科目です。基幹科目は、基礎科目を踏まえて、より高度なテーマや応用的な内容を学び、専門分野の学びを深めるための科目で、「人文科学」「社会・文化・メディア」「政治・経済」「情報科学」「自然科学」の5つの分野で構成されています。展開科目は、各学問領域の最先端の知識と議論に触れるための科目です。演習科目は、本学の特色である徹底した少人数教育のもと、特定のテーマについて探究するための科目です。

「3. 学習方法」

- 領域横断型の学習：様々な学問領域を横断的に学ぶことで、文化や社会、情報に関する広い視野を持ち、多角的な視点から問題を考える力を身につけます。
- 主体的・対話的な学習：教員と学生、学生同士の対話を重視した双方向型の学習を通して、主体的に授業に参加する姿勢と、自分の意見を形成・発信する能力を身につけます。
- 多言語・多文化コミュニケーションの実践：日本語及び外国語を用いて自分の意見を適切に表現し、思想や文化の違いを尊重しつつ、他者と円滑にコミュニケーションを図るための言語運用能力を習得します。
- 情報リテラシーの習得：高度情報社会において必要とされる知識や技能を体系的に学び、情報通信技術を適切に利活用できるリテラシーを習得します。
- 社会連携型の学習：学内外の実体験を通じて、グローバル社会や地域社会の課題に対する意識を高め、他者と協働して問題解決に取り組む実践力を身につけます。

「4. 学習過程」

〈国際文化学科〉

- 学生は、自分の興味・関心や将来の目標に基づいて科目を選択し、専門分野の学びを深めます。人文科学・社会科学分野の科目を段階的・体系的に履修する一方、それ以外の分野の科目も自由に履修することができます。
- 1年次から2年次前半までは、共通科目とともに導入科目・基礎科目を中心に履修します。これにより、専門科目を学ぶために必要な基礎的知識を身につけると同時に、どのような専門分野を中心に学んでいきたいかを探求します。
- 2年次後半以降は、基幹科目・展開科目を中心に履修します。自分が学びたい科目を選択し、卒業までのカリキュラムを主体的に組み立てます。
- 3年次以降は演習科目である「専門演習」を履修し、他の学生や教員との密接なコミュニケーションのもと、特定のテーマについて探究します。
- 4年次には、大学での学びの集大成として卒業研究に取り組みます。

〈国際情報学科〉

- 学生は、自分の興味・関心や将来の目標に基づいて科目を選択し、専門分野の学びを深めます。情報分野の科目を段階的・体系的に履修する一方、それ以外の分野の科目も自由に履修することができます。
- 1年次から2年次前半までは、共通科目とともに導入科目・基礎科目を中心に履修します。これにより、自分が興味のある情報分野に出会い、視野を広げると同時に、基礎的な知識・技能を修得します。
- 2年次後半以降は、基幹科目・展開科目を中心に履修します。自分が学びたい科目を選択し、卒業までのカリキュラムを主体的に組み立てます。特に AI やデータサイエンス、災害情報、情報デザイン、経営情報などに関する科目を学び、応用・発展的な知識・技能を身につけます。
- 3年次以降は演習科目である「専門演習」を履修し、他の学生や教員との密接なコミュニケーションのもと、特定のテーマについて探究します。また、企業と連携したインターンシップの科目では、実社会における知識や技術を具体的に学びます。
- 4年次には、大学での学びの集大成として卒業研究に取り組みます。

「5. 学習成果の評価」

- 各授業科目の成績は、到達目標をどの程度達成できたかという観点から、試験・課題・レポート等の複数の方法を用いて総合的に評価します。各授業科目の到達目標及び評価方法は、シラバスに明記します。
- 各授業科目の成績を基礎として GPA (Grade Point Average) を算出し、成績優秀者の表彰や留学対象者の選定等に活用します。
- 授業アンケートや学生アンケートを通じて、学生の学習実態、授業理解度・満足度、ディプロマ・ポリシーに掲げる学習目標及び各授業科目の到達目標の達成状況を把握し、その結果を授業改善及びカリキュラムの改善に活用します。

5 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

「求める学生像」

宮崎公立大学は、地域に根差した大学として、建学の理念に基づき、リベラル・アーツ教育を通じて、人材育成目標である「教養あるグローバルな人物」を育成します。そのため、次のような知識・能力・姿勢を備えた学生を求めます。

〈国際文化学科〉

- 高等学校までに学習する教科の基礎的知識
- 大学での高度な学びに必要な日本語及び英語の運用能力
- 論理的に思考し、自分の考えを明確に表現できる能力
- 情報を正確に読み解き、活用できる能力
- リベラル・アーツ教育を重視する本学の特色を理解し、幅広い学問分野を主体的に学ぼうとする姿勢
- 広く社会の課題に関心を持ち、他者とともに課題解決に取り組む姿勢
- 異なる文化の理解や外国語の習得に努め、新しいグローバル社会を創造しようとする姿勢

〈国際情報学科〉

- 高等学校までに学習する教科の基礎的知識
- 大学での高度な学びに必要な日本語及び英語の運用能力
- 論理的に思考し、自分の考えを明確に表現できる能力
- 情報を正確に読み解き、活用できる能力
- リベラル・アーツ教育を重視する本学の特色を理解し、幅広い学問分野を主体的に学ぼうとする姿勢
- 高度情報社会における課題に関心を持ち、他者とともに課題解決に取り組む姿勢
- 多様化するデジタル技術の利活用に興味を持ち、新しいグローバル社会を創造しようとする姿勢

II 入学者選抜の概要

1 募集人員

学部	学科	募集人員	一般選抜		学校推薦型選抜		特別選抜			編入学試験(3年次)	
			前期日程	後期日程	I (県内枠)	II (全国枠)	帰国生選抜	社会人選抜	私費外国人留学生選抜	一般編入学	私費外国人留学生編入学
人文学部	国際文化学科	150	60	15	50	25	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	国際情報学科	50	20	5	15	10	—	—	—	—	—

2 入学者選抜実施日程

選抜区分		学科	出願期間	選抜期日	合格発表	入学手続期間 (予定)	
一般選抜	前期日程	国際文化	1月25日(月) ～ 2月3日(水)	2月25日(木)	3月5日(金)	3月5日(金) ～ 3月15日(月)	
		国際情報					
	後期日程	国際文化		3月12日(金)	3月20日(土)		3月20日(土) ～ 3月27日(土)
		国際情報					
学校推薦型選抜	学校推薦型選抜I(県内枠)	国際文化	11月1日(日) ～ 11月7日(土)	11月21日(土) ～ 11月24日(火)	12月9日(水)	12月9日(水) ～ 12月17日(木)	
		国際情報					
	学校推薦型選抜II(全国枠)	国際文化					
		国際情報					
特別選抜	帰国生選抜	国際文化	11月1日(日) ～ 11月7日(土)	11月21日(土) ～ 11月24日(火)	12月9日(水)	12月9日(水) ～ 12月17日(木)	
	社会人選抜	国際文化					
	私費外国人留学生選抜	国際文化					
編入学試験	一般編入学試験(3年次)	国際文化	11月1日(日) ～ 11月7日(土)	11月21日(土) ～ 11月24日(火)	12月9日(水)	12月9日(水) ～ 12月17日(木)	
	私費外国人留学生編入学試験(3年次)	国際文化					

※ 募集要項公表時期は「VIII インターネット出願」(23ページ)を確認してください。

※ 学校推薦型選抜、特別選抜、編入学試験の選抜期日の詳細は、各選抜区分の説明ページを確認してください。

3 入学者選抜方法等

選抜区分	選抜方法	学力の3要素		
		知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
一般選抜前期日程	大学入学共通テスト	●	●	
	教科・科目に係る個別テスト			
	国際文化学科：英語 国際情報学科：総合問題	●	●	
	調査書			●
一般選抜後期日程	大学入学共通テスト	●	●	
	小論文		●	
	調査書			●
学校推薦型選抜Ⅰ (県内枠)	小論文		●	
	個人面接		●	●
	書類審査	●		●
学校推薦型選抜Ⅰ (全国枠)	小論文		●	
	個人面接		●	●
	書類審査	●		●
帰国生選抜	個人面接		●	●
	書類審査	●		●
社会人選抜	個人面接		●	●
	書類審査	●		●
私費外国人留学生選抜	個人面接		●	●
	書類審査	●		●
一般編入学試験(3年次)	個人面接		●	●
	書類審査	●		●
私費外国人留学生 編入学試験(3年次)	個人面接		●	●
	書類審査	●		●

※ 特に評価する項目に「●」を付しています。

※ すべての選抜区分において、二段階選抜は実施しません。

Ⅲ 一般選抜

国際文化学科および国際情報学科の併願不可。

1 出願資格（国際文化学科・国際情報学科共通）

令和9年度大学入学共通テストのうち、本学の指定する教科・科目を受験した者で、次の(1)から(3)のいずれかに該当する者。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和9年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※ (3)に該当する者のうち、本学の入学資格審査を希望する者は、令和8年7月1日（水）から令和8年8月31日（月）までに入学資格認定のための申請書を提出する必要があります。ついては、早めに宮崎公立大学学務課まで問い合わせてください。ただし、令和9年度大学入学共通テストを受験した者で、受験後に本学の入学資格の認定を受けようとする場合は、令和9年1月18日（月）から令和9年1月22日（金）までに入学資格認定のための申請書を提出してください。

2 選抜方式

大学入学共通テスト（3教科・3科目）により基礎学力を評価するとともに、教科・科目に係る個別テスト等で、高等学校等で得た知識・技能ならびに思考力・判断力・表現力等を評価します。

3 試験科目・試験時間

(1) 大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目（全学科・全日程共通）

教科	科目	科目の選択方法
国語	「国語」	必須
外国語	「英語」（リーディング・リスニング）（※1）	必須
地理歴史・公民（※2）	「地理総合，地理探究」「歴史総合，日本史探究」 「歴史総合，世界史探究」「公共，倫理」「公共，政治・経済」 「地理総合／歴史総合／公共」（※3）	左の15科目中 1科目を選択
数学	「数学Ⅰ，数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ，数学B，数学C」	
理科（※2）	「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」（※4） 「物理」「化学」「生物」「地学」	
情報	「情報Ⅰ」	

※1 「英語」はリーディングとリスニングの両方を回答しなければなりません（リスニングの免除をされた者を除く）。

※2 地理歴史、公民または理科を2科目受験している場合において、選択科目として利用できる得点は第1解答科目のみを対象とします。

※3 「地理総合／歴史総合／公共」は2科目の受験をもって1科目とします。

※4 「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」は2科目の受験をもって1科目とします。

大学入学共通テストの受験科目については、
大学入試センターによる「出題教科・科目の出題方法等」を必ず確認してください。

(2) 教科・科目に係る個別テスト等

学科	区分	科目等	試験時間
国際文化	前期	外国語（英語） 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」	120分
	後期	小論文	80分
国際情報	前期	総合問題（英語および情報の内容を含む） 「英語コミュニケーションⅠ」「英語コミュニケーションⅡ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅰ」「論理・表現Ⅱ」「論理・表現Ⅲ」 「情報Ⅰ」	120分
	後期	小論文	80分

(3) 調査書の活用（主体性評価）

- ・ 教科・科目に係る個別テスト等における評価項目として高等学校等から提出される調査書を活用します。
- ・ 主体性については、高校での授業に向き合う姿勢（授業態度）等、平常評価が加味されていると考えるため、調査書記載項目のうち「3. 各教科の学習成績の状況」を評価します。
- ・ 調査書を提出できない者は、活動報告書（本学様式）の提出により評価します。

(4) 配点

(単位：点)

学科	区分	国語	英語	地歴 公民	数学	理科	情報	総合 問題	小論文	調査書	合計	
国際 文化	前期	共通 テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	—	—	—	650
		個別	—	200	—	—	—	—	—	—	10	210
		合計	200	450	(200)	(200)	(200)	(200)	—	—	10	860
	後期	共通 テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	—	—	—	650
		個別	—	—	—	—	—	—	—	100	5	105
		合計	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	—	100	5	755
国際 情報	前期	共通 テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	—	—	—	650
		個別	—	—	—	—	—	—	200	—	10	210
		合計	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	200	—	10	860
	後期	共通 テスト	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	—	—	—	650
		個別	—	—	—	—	—	—	—	100	5	105
		合計	200	250	(200)	(200)	(200)	(200)	—	100	5	755

※ 大学入学共通テストの英語は「リーディング」(100点満点)を150点満点に換算し、「リスニング」(100点満点)との合計得点(250点満点)を利用します。

※ 大学入学共通テストで地理歴史、公民、数学、理科、情報のうち複数教科を受験した場合は、その中の最高得点の1科目を採用し、選択科目として200点満点に換算します。ただし、地理歴史、公民または理科を2科目受験している場合において、選択科目として利用できる得点は第1解答科目のみを対象とします。

※ 配点に()の付してある教科は選択教科を表します。

※ 「個別」は「教科・科目に係る個別テスト」等を指します。

4 選抜に係る期日(国際文化学科・国際情報学科共通)

出願期間	選抜期日		合格発表
令和9年1月25日(月)	前期日程	令和9年2月25日(木)	令和9年3月5日(金)
～ 2月3日(水)	後期日程	令和9年3月12日(金)	令和9年3月20日(土)

5 その他

- ・ 入学手続き者が入学定員に満たない場合の欠員補充の方法は、追加合格によります。

IV 学校推薦型選抜

1 出願資格（国際文化学科・国際情報学科共通）

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜・県内枠）

学校推薦型選抜Ⅱ（全国枠）との併願不可。

国際文化学科および国際情報学科の併願不可。

次の(1)から(6)のすべてに該当する者。

- (1) 次の①または②のいずれかに該当する者
- ① 宮崎県内の高等学校^{※1}もしくは中等教育学校を令和8年度卒業見込みの者または令和8年度内卒業者
 - ② 宮崎県内の学校において通常の課程による12年の学校教育を令和8年度修了見込みの者または令和8年度内修了者^{※2}
- (2) 全体の学習成績の状況が4.0以上の者
- (3) 次の①または②のいずれかに該当する者
- ① 外国語（英語）の学習成績の状況が4.3以上の者
 - ② 令和6年4月1日以降に実用英語技能検定（「英検 S-CBT」「英検 S-Interview」を含む）の準2級以上を受験し次のCSEスコアを取得した者（出願時に合格証明書の写しを提出できる者に限る^{※3}）
- | 級 | 準2級 | 準2級プラス | 2級 | 準1級 | 1級 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| CSEスコア | 1728以上 | 1728以上 | 1728以上 | 1980以上 | 2304以上 |
- (4) 志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者
- (5) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者
- (6) 他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

※1 学校教育法第54条に定める「広域の通信制の課程」を除く。

※2 特別支援学校の高等部を令和8年度修了見込みの者または令和8年度内修了者、及び高等専門学校第3年次を令和8年度修了見込みの者または令和8年度内修了者。

※3 デジタル証明書の利用も認めるが、志願者側でプリントアウトしたものに限る（データ形式での提出は不可）。デジタル証明書のプリントアウト方法等については英検のデジタル証明書特設サイト等を参照のこと。なお、プレビュー画面のキャプチャ画像等をプリントアウトしたものの提出は認めていないので注意すること。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜・全国枠）

学校推薦型選抜Ⅰ（県内枠）との併願不可。

国際文化学科および国際情報学科の併願不可。

次の(1)から(6)のすべてに該当する者。

(1) 次の①または②のいずれかに該当する者

- ① 日本の高等学校^{※1}もしくは中等教育学校を令和8年度卒業見込みの者または令和8年度内卒業者
- ② 日本の学校において通常の課程による12年の学校教育を令和8年度修了見込みの者または令和8年度内修了者^{※2}

(2) 全体の学習成績の状況が4.0以上の者

(3) 次の①または②のいずれかに該当する者

- ① 外国語（英語）の学習成績の状況が4.3以上の者
- ② 令和6年4月1日以降に実用英語技能検定（「英検 S-CBT」「英検 S-Interview」を含む）の準2級以上を受験し次のCSEスコアを取得した者（出願時に合格証明書の写しを提出できる者に限る^{※3}）

級	準2級	準2級プラス	2級	準1級	1級
CSEスコア	1728以上	1728以上	1728以上	1980以上	2304以上

(4) 志願する学科に対する能力・適性について出身学校長が責任をもって推薦できる者

(5) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(6) 他の国公立大学の学校推薦型選抜に出願していない者

※1 学校教育法第54条に定める「広域の通信制の課程」を含む。

※2 特別支援学校の高等部を令和8年度修了見込みの者または令和8年度内修了者、及び高等専門学校第3年次を令和8年度修了見込みの者または令和8年度内修了者。

※3 デジタル証明書の利用も認めるが、志願者側でプリントアウトしたものに限る（データ形式での提出は不可）。デジタル証明書のプリントアウト方法等については英検のデジタル証明書特設サイト等を参照のこと。なお、プレビュー画面のキャプチャ画像等をプリントアウトしたものの提出は認めていないので注意すること。

2 推薦者数（Ⅰ（県内枠）・Ⅱ（全国枠）共通）

1つの学校から推薦できる人数に制限はありません。

3 選抜方法・配点等（Ⅰ(県内枠)・Ⅱ(全国枠)共通)

小論文（600字程度）、面接、出願書類（調査書・推薦書・志望理由書・活動報告書）の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・学ぶ態度・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

選抜方法	小論文	個人面接	書類審査	合計
配点	90点	90点	60点	240点
試験時間	60分	25分	—	—

※ 選抜方法、配点、試験時間については、学科共通です。

4 選抜に係る期日（Ⅰ(県内枠)・Ⅱ(全国枠)共通)

出願期間	選抜期日	合格発表
令和8年11月1日(日) ～11月7日(土)	令和8年11月21日(土) ～ 令和8年11月24日(火) ※実際の選抜期日については、 受験票で通知する予定です。	令和8年12月9日(水)

V 特別選抜

帰国生選抜

国際情報学科での募集は行いません。

1 出願資格

日本国籍を有する者および日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であり、外国において教育を受けた者で、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ(4)の要件を満たす者。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までに卒業した者および卒業見込みの者（修了および修了見込みの者を含む。）又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。ただし、上記に加え、外国において最終学年を含め 2 年以上継続して学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受けていることが必要。
- (2) 日本の高等学校もしくは中等教育学校を令和 7 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までに卒業した者または卒業見込みの者のうち、中学校・高等学校もしくは中等教育学校を通じて 3 年以上外国の学校教育（外国における日本の学校教育に相当する教育を除く。）を受け、かつ日本の高等学校もしくは中等教育学校の後期課程の在学期間が 2 年未満の者
- (3) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）、バカロレア資格（フランス共和国）、GCE A レベル資格（英国）、国際 A レベル資格（英国）または欧州バカロレア資格を令和 7 年から令和 8 年までに授与された者
- (4) 出願日から 2 年以内に、TOEIC L&R^{※1} 1500 点以上または実用英語技能検定（「英検 S-CBT」「英検 S-Interview」を含む）の 2 級以上を受験し次の CSE スコアを取得した者（出願時に合格証明書の写しを提出できるものに限る^{※2}）

級	2 級	準 1 級	1 級
CSE スコア	1728 以上	1980 以上	2304 以上

※1 TOEIC-IP の成績は採用しません。

※2 デジタル証明書の利用も認めるが、志願者側でプリントアウトしたものに限る（データ形式での提出は不可）。デジタル証明書のプリントアウト方法等については英検のデジタル証明書特設サイト等を参照のこと。なお、プレビュー画面のキャプチャ画像等をプリントアウトしたものの提出は認めていないので注意すること。

※3 出願資格について不明な点がある場合は、**必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。**

2 選抜方法・配点等

面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

選抜方法	個人面接	書類審査	合計
配点	75点	5段階評価	個人面接と書類審査の結果を総合的に評価
試験時間	30分	—	—

3 選抜に係る期日

出願期間	選抜期日	合格発表
令和8年11月1日(日) ～11月7日(土)	令和8年11月21日(土) ～ 令和8年11月24日(火) ※実際の選抜期日については、 受験票で通知する予定です。	令和8年12月9日(水)

社会人選抜

国際情報学科での募集は行いません。

1 出願資格

令和9年4月1日現在で満23歳以上の社会人で、次の(1)から(6)のいずれかに該当し、かつ(7)の要件を満たす者。ただし、出願時において学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校に在籍する者は出願できません。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）
- (7) 出願日から2年以内に、TOEIC L&R^{※1}450点以上または実用英語技能検定（「英検 S-CBT」「英検 S-Interview」を含む）の準2級以上を受験し次の CSE スコアを取得した者（出願時に合格証明書の写しを提出できるものに限る^{※2}）

級	準2級	準2級プラス	2級	準1級	1級
CSE スコア	1728 以上	1728 以上	1728 以上	1980 以上	2304 以上

※1 TOEIC-IP の成績は採用しません。

※2 デジタル証明書の利用も認めるが、志願者側でプリントアウトしたものに限る（データ形式での提出は不可）。デジタル証明書のプリントアウト方法等については英検のデジタル証明書特設サイト等を参照のこと。なお、プレビュー画面のキャプチャ画像等をプリントアウトしたものの提出は認めていないので注意すること。

※3 出願資格について不明な点がある場合は、必ず出願期間前に余裕を持って宮崎公立大学学務課に相談してください。

2 選抜方法・配点等

面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、高等学校で習得する程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

選抜方法	個人面接	書類審査	合計
配点	75点	5段階評価	個人面接と書類審査の結果を総合的に評価
試験時間	30分	—	—

3 選抜に係る期日

出願期間	選抜期日	合格発表
令和8年11月1日(日) ～11月7日(土)	令和8年11月21日(土) ～ 令和8年11月24日(火) ※実際の選抜期日については、 受験票で通知する予定です。	令和8年12月9日(水)

私費外国人留学生選抜

国際情報学科での募集は行いません。

1 出願資格

外国籍を有し、独立行政法人日本学生支援機構が実施する 2025 年度第 1 回・第 2 回もしくは 2026 年度第 1 回日本留学試験（日本語・総合科目・数学〈コース 1、2 いずれでも可〉、出題言語は日本語とする。）を受験した者で、次のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および令和 9 年 3 月修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (2) 外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）、バカロレア資格（フランス共和国）、GCE A レベル資格（英国）、国際 A レベル資格（英国）または欧州バカロレア資格を取得した者

2 選抜方法・配点等

面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

※ 2025 年度第 1 回・第 2 回もしくは 2026 年度第 1 回日本留学試験の成績および 2025 年度第 1 回・第 2 回もしくは 2026 年度第 1 回日本語能力試験の成績を合否判定の参考資料として利用します。

選抜方法	個人面接	書類審査	合計
配点	75 点	5 段階評価	個人面接と書類審査の結果を総合的に評価
試験時間	30 分	—	—

3 選抜に係る期日

出願期間	選抜期日	合格発表
令和 8 年 11 月 1 日(日) ～11 月 7 日(土)	令和 8 年 11 月 21 日(土) ～ 令和 8 年 11 月 24 日(火) ※実際の選抜期日については、 受験票で通知する予定です。	令和 8 年 12 月 9 日(水)

編入学試験（一般編入学(3年次)・私費外国人留学生編入学(3年次)）

国際情報学科での募集は行いません。

1 出願資格

一般編入学(3年次)

本学への編入学を希望する者で、次の(1)から(5)のいずれかに該当し、かつ(6)の要件を満たす者

- (1) 大学、短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または令和9年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構で学士の学位を取得している者または令和9年3月31日までに取得見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であること、その他文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る）を修了した者または令和9年3月修了見込みの者（学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る）
- (4) 大学において2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上を修得した者または令和9年3月31日までに同要件を満たす者
- (5) 外国において、学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を修了した者または令和9年3月修了見込みの者
- (6) 出願日から2年以内に、TOEIC L&R^{※1}550点以上または実用英語技能検定（「英検S-CBT」「英検S-Interview」を含む）の準1級以上を受験し次のCSEスコアを取得した者（出願時に合格証明書の写しを提出できるものに限る^{※2}）

級	準1級	1級
CSEスコア	1980以上	2304以上

※1 TOEIC-IPの成績は採用しません。

※2 デジタル証明書の利用も認めるが、志願者側でプリントアウトしたものに限る（データ形式での提出は不可）。デジタル証明書のプリントアウト方法等については英検のデジタル証明書特設サイト等を参照のこと。なお、プレビュー画面のキャプチャ画像等をプリントアウトしたものの提出は認めていないので注意すること。

私費外国人留学生編入学(3年次)

日本国籍を有さず、かつ日本国の永住許可または特別永住許可を得ていない者で、(1)と(2)のいずれにも該当する者。

- (1) 外国の大学、外国の短期大学相当の学校教育（14年以上）を卒業もしくは令和9年3月31日までに卒業見込みの者、または外国の大学等を2年次修了または修了見込みの者
- (2) 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する「日本語能力試験」でN1の認定を得ている者

2 選抜方法・配点等

一般編入学（3年次）	私費外国人留学生編入学（3年次）
面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、本学の3年次で求められる程度の基礎学力とともに、表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。	面接、志望理由書その他の出願書類の内容によって、3年次からの履修に必要な日本語能力・表現力・思考力・判断力・主体性・志望動機・本学での学びに対する適性等を総合的に評価します。

選抜方法	個人面接	書類審査	合計
配点	75点	5段階評価	個人面接と書類審査の結果を総合的に評価
試験時間	30分	—	—

3 選抜に係る期日（3年次一般編入学・3年次私費外国人留学生編入学 共通）

出願期間	選抜期日	合格発表
令和8年11月1日(日) ～11月7日(土)	令和8年11月21日(土) ～ 令和8年11月24日(火) ※実際の選抜期日については、 受験票で通知します。	令和8年12月9日(水)

4 編入学後の履修等（3年次一般編入学・3年次私費外国人留学生編入学 共通）

編入学時に認定された単位の状況および編入学後の修学状況によっては、2年間で卒業できないことがあります。次の留意事項等を必ず確認のうえ、十分理解・納得したうえで出願してください。

卒業要件科目・単位数	61科目・124単位（令和7年度入学者と同じカリキュラムが適用されます）
3年次編入学 留意事項	<p>(1) 国際文化学科への編入学となります。</p> <p>(2) 3年次編入学者の修業年限は2年とし、在学期間は修業年限の2倍を超えることはできません。</p> <p>(3) 本学に入学する前に在学した他大学等で修得した単位については、次のとおり本学の基準に基づき認定を行います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>包括認定※1 50単位 個別認定※2 10単位</p> </div> <p>(4) 3年次編入学者の人数によっては、希望するゼミ（専攻）に所属できない可能性があります。</p> <p>(5) 教育職員免許状取得に関する科目を個別認定申請する場合は、教育職員免許法の規定により単位認定上の制限を受ける科目があります。</p> <p>(6) 編入学時の単位状況によっては、4年次に多くの科目を履修しなければならず、1年から本学に在学している4年生と同様の就職活動ができないことがあります。編入学生であることや就職活動等を理由に履修科目等に特別な配慮をすることはありません。</p>

※1 本学における1・2年次必修科目単位相当（入学時点で自動的に付与されます。）

※2 他大学等で修得した単位のうち、本学で開講されている科目（包括認定対象科目は除く）の単位として読み替えが可能なものについて個別に申請することができます。ただし、審査により認定されない場合もあります。

VI 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上および修学上の配慮を必要とする入学志願者は、本学に出願する前に余裕をもって宮崎公立大学学務課まで連絡し、事前に相談してください。

VII 学生募集要項の公表

本学の入学者選抜については、その詳細を学生募集要項で必ず確認してください。

1 公表時期（予定）

選 抜 区 分	公表時期
学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない・県内枠）	9月下旬
学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課さない・全国枠）	9月下旬
帰国生選抜・社会人選抜・私費外国人留学生選抜・編入学試験（3年次）	9月下旬
一般選抜	11月上旬

2 請求方法

（1）学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱおよび一般選抜（前期日程・後期日程）

インターネット出願のみの取扱いであるため、紙媒体（冊子）での配布は行っていません。本学受験生サイトの「資料請求」ページにてPDFデータをご確認ください。

（2）帰国生選抜・社会人選抜・私費外国人留学生選抜・編入学試験（3年次）

次の①または②の方法で請求してください。なお、本学受験生サイトにてPDFデータを公表していますが、本学指定の入学検定料振込用紙は含まれていません。出願を希望する場合は、出願期間前に余裕を持って必ず資料請求を行い、学生募集要項を入手してください。

① 大学窓口で直接請求する場合

月曜日から金曜日（ただし、祝日を除く。）の8時30分から17時15分までの間に宮崎公立大学学務課窓口にて直接請求してください。

② 郵送により請求する場合

本学受験生サイト「資料請求」ページ内の「大学への直接請求(郵送)」をご覧ください。
《資料請求のページ》

<https://www.miyazaki-mu.ac.jp/entrance/entrance-exam/document/request.html>



VIII インターネット出願

学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱおよび一般選抜（前期日程・後期日程）は、インターネット出願のみの取扱いです。紙の願書による出願はできません。

インターネット出願では、願書請求が不要となり、検定料の支払いにコンビニエンスストアやクレジットカードが利用できます。

ただし、志願票や調査書等、出願期間中に郵送が必要な書類がありますので、出願前に必ず揃えておいてください。（詳しくは「学生募集要項」等で必ず確認してください。）

1 インターネット出願対象の入学者選抜

学校推薦型選抜Ⅰ・Ⅱおよび一般選抜（前期日程・後期日程）に限ります。

※特別選抜、編入学試験は対象外です。

2 注意事項

出願をしようとする者は、出願期間前に「学生募集要項」およびインターネット出願に関する情報をよく読んで、入学検定料の入金の方法、郵送すべき書類、郵送用封筒、そのほか出願に際し必要な事項を必ず確認してください。

IX その他

この冊子の情報は令和8年6月22日時点のものです。文部科学省および公立大学協会からの通知内容によっては、やむを得ず選抜に係る期日等を変更する場合があります。変更がある際は、本学受験生サイトで公表しますので、定期的に最新の情報を確認するようにしてください。

また、出願にあたっては、各学生募集要項を必ず確認してください。

X 問い合わせ・事前相談・学生募集要項請求先

宮崎公立大学 学務課入試広報係

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目1番地2

TEL：0985-20-2212（入試広報係直通）／0985-20-2000（代表）

宮崎公立大学
受験生サイト



宮崎公立大学
携帯電話サイト
大学情報センター運営サイト



宮崎公立大学周辺図



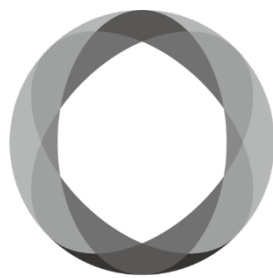
交通案内

[最寄りの駅から]

- J R 宮崎駅から徒歩約 25 分、車約 5 分

[最寄りのバス停から]

- 公立大前から徒歩約 1 分
- 花殿町から徒歩約 5 分
- 江平 1 丁目から徒歩約 10 分



やわらかな知性を身につける。

宮崎公立大学
MMU LIBERAL ARTS